

# 人と社会に豊かなコミュニケーション文化を創造する グローバル先進企業を実現

新しい令和の時代を迎え、日本での大規模な台風被害や世界各地での異常気象、さらには新型コロナウイルスの感染拡大など、世界を取り巻く情勢は一層不透明感を増しています。こうした社会が大きく変わらざるを得ない出来事は、この先も必ず起こります。私たちはそうした社会の変化に柔軟に対応し、生き抜くことができるよう備える必要があります。そのため重要なSDGsを始めとするサステナブルな視点をもち、中長期の事業継続、持続的成長に向けた取り組みを強化しています。

環境において近年国際的に大きな注目を集めている海洋プラスチックごみ問題は、海洋の生態系に悪影響を与え得るほか、人の健康にも影響を及ぼしかねない喫緊の課題です。この問題を解決するためには、新興国を含めた世界全体での取組が必要です。当社は文具メーカーとして、製品を通じた地球環境への貢献はもちろん、事業活動を通じて環境負荷の低減に取り組んでいます。

シャチハタは創業当初からモノを大切に、環境に配慮したモノづくりに取組んで参りました。1925年（大正14年）の創業時に発売した「万年スタンプ台」は、長期間の使用を可能にするため、空気中の水分を吸収するインキを開発して作られました。また朱肉やXスタンプも、インキを補充することで長期間繰り返しお使いいただける製品です。「使い捨てではないモノづくり」の精神は、今も全ての製品において受け継がれております。

さらに近年は、「製品の製造時に使用するエネルギーの削減」「製品に含まれる化学物質の把握・管理」も、モノづくりに必要不可欠な要素となつて参りました。使用エネルギーの削減は、地球温暖化防止のための温室効果ガス削減、特にCO<sub>2</sub>の削減のためにあらゆる企業が取り組まねばならない課題です。またもう一方で、製品に重金属等の有害な物質が含まれないよう、材料や製造工程を適切に管理することも、製品を安心・安全にお使いいただく上で忘れてはならない配慮です。

また、製品の一生を通じた環境負荷低減を図るため、ライフサイクルステージ毎の環境負荷の見える化手法を構築し、環境調和型製品の開発に努めています。環境と一言でいっても環境負荷は目に見えないものが大半です。ライフサイクル推進等による環境負荷の「減らす化」だけではなく、その効果を定量化するためのライフサイクルアセスメントLCA(Life Cycle Assessment)を実践し、環境負荷の「見える化」に努めています。

商品の提供による社会への貢献と、環境への配慮による貢献。この2つを両輪とし、今後もシャチハタは100年企業を目指して歩みを進めて参りますので、ご支援のほどお願い申し上げます。



代表取締役社長  
**舟橋 正剛**  
Masayoshi Funahashi



## 環境活動のハイライト

		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
CO <sub>2</sub> 排出量 (t)		4,610	4,495	4,949	4,584	5,019
廃棄物総排出量 (t)		1,024	985	1,144	1,032	1,121
廃棄物最終処分量 (t)		26	16	17	18	17
廃棄物総リサイクル率 (一般廃棄物を含む) (%)		97	98	98	98	98
再生材利用率	原材料プラスチック (%)	64	66	68	56	52
	洗浄用アルコール (%)	100	100	100	100	100
環境対応商品売上比率 (%)		60	59	60	59	56
PRTR法対象 化学物質年間取扱量 (t)	エチレングリコールモノメチルエーテル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	エチレングリコールモノエチルエーテル	0.437	0.0	0.0	0.0	0.0
	キシレン	0.412	0.364	0.312	0.294	0.274

## 2019年度 シヤチハタのマテリアルバランス (INPUT・OUTPUT図)

